

J R 総連通信

レールウェイはヒューマンウェイ
実現！ ニッポンの安全確認

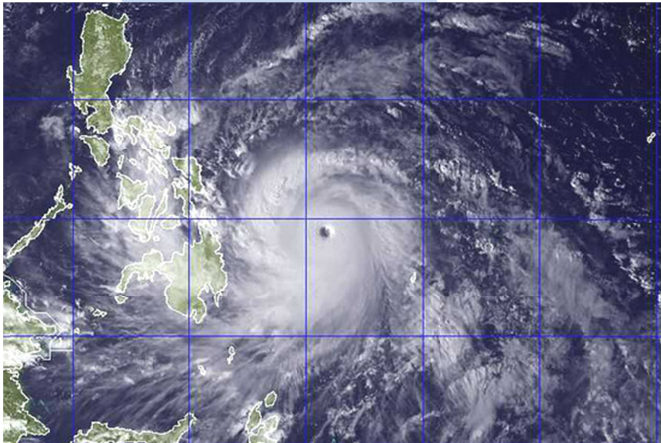


2013年11月29日 No.1102

全日本鉄道労働組合総連合会（JR総連） <http://www.jr-souren.com>

フィリピン史上最悪の被害

台風30号・Yolanda



緊急支援！

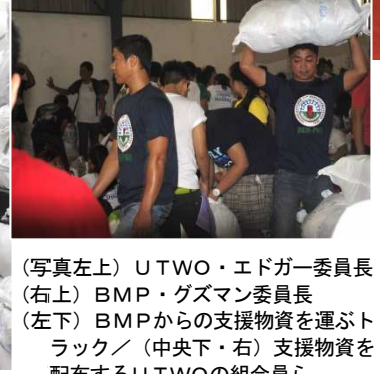
JR総連から見舞金

JR総連は11月17日、タイでおこなった「ICLS（国際労働者交流センター）ハジャイフォーラム2013」の会場で、台風30号の被災者支援にと、BMP（フィリピン労働者の連帯）のレオディー・グズマン委員長と、UTWO（フィリピン交通労組連合）のエドガー・ビラヨン委員長にそれぞれ緊急の見舞金を手渡した。

11月8日早朝、フィリピンのレイテ島などを襲った台風30号（Yolanda・895hPa・最大風速65m）では、想像を超える暴風雨や高潮などにより、フィリピン史上最悪の被害をもたらした。この台風による犠牲者は約5,000人、負傷者1万2,500人、さらに191万以上の家が失われたとされる。また187万人が避難民となり、そのうち8割以上が路上生活を余儀なくされているという。

ICLS加盟のBMPは被災が伝えられた直後から支援物資を積んだトラックで現地に入り、物資の配布や被災者支援施設の建設も進めている。また、UTWO・エドガー委員長は「被災者のニーズに合った支援を継続する」と語り、緊急支援金を募って組合員らも現地で支援活動をしている。

JR総連は、東日本大震災で両労組からいち早く支援をいただいたことを忘れない。犠牲者のご冥福を祈るとともに、両労組と連携し、人々の生活が1日も早く安定するよう今後も必要な支援を行っていく。



(写真左上) UTWO・エドガー委員長
(右上) BMP・グズマン委員長
(左下) BMPからの支援物資を運ぶトラック／(中央下・右) 支援物資を配布するUTWOの組合員ら